

テーマ

地域人材の力によって、協力し合える心豊かな子どもを育てよう。

目標

- ・奈良の文化や伝統などのよさを知り、地域に誇りをもつ子どもを育てる。
- ・学習意欲や科学的な思考を育て、自ら考え、正しい判断ができる子どもを育てる。
- ・どのような環境でも挫けない強い意志と体力、豊かな心をもった子どもを育てる。
- ・親子、家族で楽しめるイベントを行い、ともに感動を分かち合える機会をつくる。
- ・幼児児童生徒が地域で協力し、小さな地域単位でボランティア活動などを行い、よりよい人間関係づくりを進める。

今年度の取組紹介

・【歴史ウォーク】「奈良の文化・伝統のよさを知ること」を目標に、11月3日（祝）に、「コナベ〜平城宮跡朱雀門へ」を歩いた。当日は「NPO 法人 なら・観光ボランティアガイドの会〈朱雀〉」の方々のガイドにより、歴史のエピソードを聞きながら楽しくウォーキングしました。参加者は約100人にのぼり、郷土への愛着が育まれました。

・【平城高校生と遊ぼう！】1月22日（日）に北部会館で実施しました。平城高校生の発表と、今年も小学校・中学校からの発表もあり、行事は大いに盛り上がりました。幼児から高齢者まで750人以上の参加があり、異年齢の交流が進んできており、地域のイベントとしても定着してきています。大きな成果をおさめています。



今年度のまとめ

【歴史ウォーク】では、100人以上の参加者があり、秋空の下、自分たちが住む校区周辺及び奈良の歴史を学び、奈良のすばらしさを実感するという成果がありました。【平城高校生と遊ぼう！】は、今回も、小学生・中学生の発表があり、参加者750人中子どもの参加は300人を数えました。内容は、幼児から高齢者まで楽しめるもので、バラエティに富んでいます。この事業により、高校も含んだ地域のコミュニティの深化や感動体験という成果がありました。

来年度に向けて

来年度も同様の事業を展開する予定です。【歴史ウォーク】は、新たなルートの発見や初めて参加する方が増えるような取り組みにします。【平城高校生と遊ぼう！】は、ここ数年の実績に頼らず、参加者が飽きないようなイベントを行っていく必要があります。また、当日は平城NTマラソンと重なるなどしたため影響が出ました。来年度は行事の重なりがないよう工夫していきたいです。

テーマ

知ろう、地域のすばらしさ！本物に触れる感動**を子どもたちに！**

目標

地域の社会人から直接、学ぶ機会を増やし、キャリア学習、平和学習、国や郷土の文化・伝統を学ぶ等の機会をもち、体験的な活動を行うことによって生きた力を身に付けさせたい。また、学校や地域の環境整備のための生徒のボランティアを活発化させ、社会に役立つ経験をもたせる。さらに、そのようにして身に付けた力を生かして生徒自身や集団で活動の成果をまとめ、地域の方々などに向けて発表させる。

今年度の取組紹介

【地域に開かれた文化発表会】では、学校の取組を地域に発信する機会としました。1・2年合唱コンクール・学年合唱、3年学年劇や吹奏楽部演奏を舞台で日頃の成果の発表を行ないました。各教室では科学部の実験や文芸部の作品展示や学年・教科の展示発表を行ないました。

【本物に学ぶ 講師招聘事業】

1学期には、2年生で講師を招いてのマナー講習会を行ないました。2学期には3年生で尺八の演奏鑑賞及び体験を、2年生では障がい者理解のための講演会と車いすバスケのチームの方々と車いすバスケット試合などを体験を行ないました。3学期には講師を招いての性教育の講演会を行うなど本物に学ぶ体験ができました。 【クリーン大作戦】本校生徒の有志100人以上が参加して校区内のゴミ集め・清掃活動を行ないました。

**今年度のまとめ**

【地域と歩む文化発表会】当日は多数の保護者・地域の方が見に来られ、生徒の頑張る姿を見ていただき、称賛の声をいただきました。地域と学校との繋がりをより深いものにできました。

【本物に学ぶ 講師招聘事業】では、直接、社会の第一線で活躍される方々の日本がはぐくんできた伝統を体験することで『本物』に触れることができ、一定の成果があったと考えています。

【クリーン大作戦】に参加した生徒から、清掃中に地域の方から「ご苦労様」「ありがとう」と声をかけていただき満足した様子でした。他人への感謝の気持ちや社会に役に立つことの満足感を体験したと考えています。

来年度に向けて

今年度の事業を継続・発展させていきたいです。また、地域の方とふれあう機会を増やし、地域に根ざした学校を目指すとともに、地域に愛をはぐくめる生徒の育成が課題となります。

テーマ

心豊かに いきいき 輝く 朱雀っ子

目標

「人」「物」「地域」との様々な出会いや体験を通して、感性豊かな心を育てる。

今年度の取組紹介

- 年間を通じて、近畿大学農学部との協力を得ると共に、地域のボランティアの皆さんの力を借りて、ビオトープを整備していくことができました。また、5・6年生の児童の学習には、年2回近畿大学の准教授と学生にゲストティーチャーとして関わっていただき、ビオトープに棲息する生物を通して、環境問題について学ぶことができます。
- 年間を通じて、図書ボランティアのみなさんによる図書室の整備や読み聞かせ活動に、今年度は北部図書館の司書も関わってくださり、これまで低学年中心だった「お話の会」を高学年に広げ、読書に親しむ活動を進めることができます。
- 環境ボランティアのみなさんが、用務員や児童・保護者と協力して、草刈や剪定の活動を行ってくださり、学校の植栽環境が、常に美しく保たれています。児童にボランティアのみなさんを紹介することで、身近な存在として実感させることができました。



今年度のまとめ

- 地域の方々と協働して教育活動や学習環境の整備を行うことによって、児童にとって地域のボランティアのみなさんが身近な存在となり、児童の地域行事への参加が、少しずつ増えてきています。
- ビオトープをはじめ、学校の学習環境の整備と共に、大学と連携した学習活動に取り組むことによって、児童がこれまで以上に生物や環境問題に興味関心を示すようになってきました。
- 以前より図書ボランティアのみなさんによる図書室の整備と読み聞かせ活動に取り組んでいますが、北部図書館の司書の方に協力いただくことで、さらに充実したものとなり、読書活動が活発になってきています。

来年度に向けて

- ビオトープを中心とする活動や「おもしろ理科実験」については、ボランティアのみなさんとの打ち合わせを密にして、さらに教科領域との関連性を高めていきたいです。
- 図書環境の充実や読み聞かせ活動については、より主体的な児童の読書活動につながるように、推進していきたいです。

テーマ

地域と共に笑顔いっぱい元気いっぱい佐保台っ子

目標

様々な感動体験を通して、児童一人一人に豊かな心を育む

今年度の取組紹介

今年度も環境美化活動事業、地域に学ぶ体験学習事業、読書活動推進事業、I

ICT学習事業学習事業、人権・福祉学習事業等の取組を地域の方やゲストティーチャーの方の支援をいただきながら進めました。環境美化活動事業では、環境委員会が中心となり、花や野菜の栽培活動に取り組みました。花の苗植や草刈り、草引きなどの作業に汗を流し、稲やイモの栽培で収穫の喜びも体験することができました。また、地域に学ぶ体験学習事業の一つとしてJR平城山電車区に協力いただき電車区内の美化運動に協力し、2年生が花の苗植を行ないました。ICT学習事業では、電子自治体アドバイザークラブの方々の協力で、全学年でICTを活用した学習を進めました。低学年は「お絵かきや簡単なお手紙作り」、中学年は「ワードを使っての自己紹介文や年賀状作り」、高学年は「パワーポイントを使ってプレゼンテーション」など、系統立てたパソコンのスキルを学び、児童のプレゼンテーション力の向上を図ることができました。

読書活動推進事業では、ブックフェアを行うとともに、地域の図書ボランティアの方や北部図書館の司書さんの協力を得て、図書室の環境作りや絵本の読み聞かせ等の読書活動を推進しました。また、月の光さんを今年も招いて読み聞かせを行い、子どもたちに相手を思いやる深い心と生きる力を育みました。人権・福祉学習事業では聴覚障害をお持ちの志水さんを講師に招き手話を通してのコミュニケーションや命の大切さを学び、相手を思いやる心やユニバーサルデザインについての考えを深めることができました。



今年度のまとめ

学校・家庭・地域が一体となって子どもの教育にあたりとともに、子どもたちの体験活動を通しての魅力ある取組を行ないました。さらに地域や親子とのふれあいを支援し、地域のすばらしい人材を広い意味で活用し連携を深めました。この取組により、自分たちが住む地域に目を向け、自分たちの郷土を愛する子どもたちが育ったものと思われました。また、これらの活動を通して情報・福祉・環境・国際理解教育の推進にも力を注いでいき、子どもたちに豊かな心を醸成出来たものと考えます。

来年度に向けて

様々な体験活動を地域の方々の支援を得ながら進めることができ、教室だけの学習では得難い多くの感動と学びがありました。このような取組は、継続的に進めてこそさらに大きな効果が表れてくるものと思います。また来年度も活動内容を工夫し、発展継続していきたいと考えます。

テーマ

地域へ発信！つながる左京

目標

地域の方々との体験活動を通して、地域を愛せる児童の育成を図る

今年度の取組紹介

平成28年10月17日（月）

〈子ども安全の家スタンプラリー〉

子どもたちの防犯意識の向上と、地域内の絆を強めることを目標にして、例年同じ時期に実施しています。

子どもたちがグループ毎に子ども安全の家旗設置者宅を訪ね、設置者と触れ合いながら校区をラリーします。3年生で1・2丁目を、4年生で3・4丁目を回り、2年間で校区内にある約70ヵ所の子ども安全の家旗設置者宅の位置のほぼ全てを確認できるようにしています。

旗設置者の方々には自宅等で各グループの対応を、保護者やボランティアの方々には子どもたちの安全確保のために、グループの誘導や立哨をしていただいています。



今年度のまとめ

- ・運営委員やコーディネーターをはじめ、非常に多くの保護者、地域のボランティアの協力を得ることができました。
- ・学校の授業を拡充できる活動や、教職員だけでは取り組めない内容の学習活動を実施することができました。
- ・地域の方々と子どもの双方が楽しみながら活動することができました。
- ・地域の大人の人たちと接することによって、子どもたちのコミュニケーション能力、規範意識、防犯意識が高まっています。

来年度に向けて

次年度も、本年度の事業の継続・充実を目指すと同時に、新しい取組の企画について、地域の方々の声を生かしながら進めていきたいです。また、事業への参画者が増えるように広報活動や啓発活動を活発に行っていきたいです。

テーマ

いきいき・わくわく・笑顔あふれる、すざくっ子

目 標

○優しい心・思いやりの心・感動する心を育む。

○体を動かす心地よさ・夢中になって遊ぶ楽しさを味わう。

○30 年度からの幼・保再編（こども園）に向けて、保育園との交流を進める中で、互いの生活（教育・保育）を理解しながら深めていきたい。
また、地域・保護者にもその趣旨を伝えながら子どもたちの生活の幅が広がるようにする。

今年度の取組紹介

【サッカーで遊ぼう】

サッカークラブのコーチをゲストティーチャーに招き、思いきり体を動かして遊びました。ウォーミングアップやボールの扱い方、簡単なルール等子どもたちの興味関心に合わせた動きを取り入れたことで機敏に動けるようになり、挑戦したり意欲的に取むなど体力向上につながりました。またこの経験を日頃の遊びにも取り入れるなどの工夫を行うことで、子どもたちが自ら積極的にサッカーを楽しみ、元気に活動する姿が見られるようになりました。



【おもしろ不思議実験】

地域の教育力を生かし、地域の名人さんと一緒に“ひつつく下敷き”の実験をしました。下敷きを扉や床に引っつけると離れないことに不思議を感じ「なぜ？ どうして？」と自分で考え試したり思ったことを言葉で表現したりと科学的な角度から興味や関心を持ちました。子どもたちに成功体験を与えてくださることが、多様な感動を生み、豊かな学びとなりました。



今年度のまとめ

「朱雀お話の会」「腹話術」「南京玉すだれ」「リトミックで遊ぼう」など地域の方の専門性を生かし協力と支援を得て、いろいろなことを教えていただき、いきいき・わくわくしながら生活することができました。「高齢者との交流」「環境ボランティア」ゲストティーチャーなどいろいろな人との触れ合いでは、一緒に活動することの楽しさや喜びを感じ、親しみや思いやりの心、感謝する心など豊かな心を育むことにつながりました。

来年度に向けて

地域の方に協力していただくことで、園だけではできない活動に取り組むことができ、子どもたちにとって豊かな経験となり成長につながりました。来年度も園・地域・保護者がさらに連携を深め、いきいき・わくわく活動する園児を目指して、今年度の事業をさらに充実し、子どもたちの育ちへとつながるように改善・推進していきます。

テーマ

心豊かに育ち合う楽しい園

目標

わくわく・ドキドキ心を動かす体験活動を通して、生き生きと生活する心豊かな園児を育てる。

今年度の取組紹介

【左京の森での栽培活動】

「左京の森」の畑を“はっぴいれいんぼーばたけ”と名付け、自分たちで描いた看板を設置することで、自分たちの畑という意識が芽生えました。地域の方に教えていただきながらサツマイモ苗を植えたり、草引きをしたり、サツマイモ掘りをしたことは、子どもたちにとって大きな感動体験となりました。また、世話をすることの大切さも分かり、地域の方々に感謝や親しみの気持ちをもつことができました。



【おもしろ理科実験】

地域の『平城NT楽しい理科実験研究会』の方々にきていただいて、今年度も「おもしろ理科実験教室」を実施しました。上昇気流を使ってボール等が浮くことを見たり、体験したりした後、一人一人「うきだまストロー」を作り、制作過程の少しの変化で浮いたり浮かなかったりすることを体験しました。子どもたちは、科学の驚きや不思議さを感じ、心揺さぶる体験となりました。



【読み聞かせ】

地域の読み聞かせのボランティアの皆さんにより継続して行っている「絵本読み聞かせ」では、毎月実施していることで落ち着いて話を聞く態度が身についてきました。また、ボランティアの方に毎回期待を持ちながら案内したり声をかけたりし、親しみが増してきました。

今年度のまとめ

- 計画的に継続して地域の方とかかわる機会をもつことで、地域の方への親しみが増し、毎回期待しながら参加し、次回を楽しみにする姿へとつながっています。
- 「左京の森」での活動は、地域の方が自分たちのために苗の植え付け等のことを教えてくださったり、畑の世話をしてくださったり、一緒にさつまいも掘りをしたりすることで、感謝の気持ちをもつことができ、言葉やプレゼントにして伝えることができました。

来年度に向けて

- 継続して地域の方とかかわることで、幼児の経験や体験を広げることができ、親しみも深まるので、今年度も計画的に継続的に事業を進めるようにしていきたいです。
- 地域の教育力を十分活かせるように、情報収集をし、保育内容に取り入れ、子どもたちの豊かな経験につなげ、地域に根ざした園をめざしていきたいと思います。